

のシルバー

てんどう

2013 第42号

平成25年7月1日発行

編集発行/
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



倉津川しだれ桜

シルバー人材センター安全・適正就業強化月間

平成25年7月1日～31日

安全就業スローガン

気を抜くな！いくら慣れても 高齢者

(乱川班 北 條 昌 夫さんの作品)



会員一丸となり

理事長 菅野洋一

会員の皆様には、お健やかに充実した毎日をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度を顧みますと、就業実績が二億一、九三五万円、前年比一〇九・六％で、契約金額、受注件数とも大幅な伸びとなりました。これもひとえに、市民の皆様と関係機関の方々のご協力、並びに会員皆様の就業への熱意と職員の努力の賜物と感謝申し上げます。

しかしながら、シルバー事業の運営がまだまだ厳しい状況であることに変わりはありません。受託事業につきましても、昨年と同様に順調に推移するとは限りません。今年に入り円安、株高の景気回復の兆しがありますが、地方への波及効果は、まだまだ時間がかかるのではないかと思われま

す。本年度は、全会員が就業に就かれるよう、就業機会の確保拡大を図るため「いち会員いち就業先開拓」に取り組んでまいります。また、就業時の事故防止につきましても、「安全は全てに優先する」ことを徹底してまいります。更に、センターには、総会、地域班会議、互助会

の行事等会員が集う機会が多くあります。会員の皆様が声を掛け合い、積極的に参加されることを希望いたします。

今後、急速に少子高齢化が進む中、高齢者世帯への生活援助事業等が年々増加しており、シルバー事業は、地域社会活性化のため、ますます発展拡充が期待されております。

このように、シルバー事業を取り巻く環境は、多くの問題を抱え、厳しい課題が多くありますが、会員の方々には、「自主・自立、共働・共助」のシルバーの基本理念のもと、就業を通じた市民へのサービス向上、ボランティア活動を通じた地域社会への貢献を念頭に努めて頂きたいと思っております。

終わりに、会員の皆様のこれまでの経験と知識を活かし、地域社会より信頼されるセンターを目指してまいる所存であります。会員の皆様は、健康増進と安全就業に心がけて頂き、一層のご活躍をお願いいたします。



双方がうまくいく「ウイン・ウイン」の関係に

常務理事 村山 隆

「いつやるの?」「今でしょ!」

今年流行しているこの言葉。シルバー人材センターはこのままで大丈夫ですか?と問われているようです。この数年、地方のシルバーは、存続するためどうすべきか悩み続けています。そこで、シルバーの財政基盤を根底から揺るがした「補助金」について考えてみたいと思います。

シルバーに対する国と地方公共団体の援助は、我が国が高齢化社会に突入して間もない昭和五十五年に、国庫補助制度として開始されました。そのとき国は、シルバーが掲げる「自主・自立、共働・共助」の理念に理解を示し、シルバーには、高齢者退職者に就業の機会を提供する役割を与え、国と地方公共団体には、その育成と監督を義務付けました。

このとき、行政とシルバーは、地域の高齢者自らが、地域における就業を通して「生涯現役社会」の実現と「地域社会の活性化」を図っていくという高い目的を共有し、「双方がよくなるウイン(勝利)・ウイン」の関係にあったと考えます。しかし、行政の安定した援助が三十年目を迎えた平成二十二年に、時の民主党政権が青天のへきれきのごとく行った

いわゆる事業仕分けによって、補助金が一方的に三分の一削減されたわけです。これが、この三十年間の評価だとすれば、また、その理由が「シルバーはまだまだ自立してはいない」では、あまりにも悔しいではありませんか。片手落ちと感じているのは私だけでしょうか。

しかし、このような厳しい環境にあっても、行政の援助は続いており、ともに発展する「五十五年の関係」はつながっていると信じています。そのために、二つのことに賛同を得たいと思っております。

一つは、シルバーが自他ともに「一丸となって頑張っている」と認められること。これは会員の皆さんにお願いしなければなりません。すべての会員がシルバー事業に積極的に参加することを。もう一つは、市の総合計画の多くの分野に「シルバー人材センター」の文字が載るようにしたい。これは天童市にお願いしなければなりません。今、シルバー事業は、一度原点に立ち戻らなければなりません。

「シルバーはまだまだ自立してはいない。」なんて二度と言われたくないと思いませんか。

シルバーの基本理念を再確認しよう

地域班会議やボランティア活動から見えてきた問題点

平成二十四年度の地域班会議やボランティア活動を実施しなかった班がありました。このことは、公益法人としての当シルバー人材センターとしては、大きな懸念を持っておりま。

地域班会議では

こんな要望、意見が出ました。地域班会議やボランティア活動では、出席者が少なくなつた、一度も来ない人がいる、班長を引き受けてくれる人がいない。

仕事や人間関係については、仕事の内容、範囲、説明等が不十分で思っていた仕事と違う、共同作業ができない人やマナーに欠けている人がいる、発注者や会員同士にも挨拶しない人がいる、職群班の結束が固いので入りづらい、仕事の依頼が来ない、ローテーションやワークシェアは守られているのか、言葉づかいが悪い、などがありました。その都度、出席理事が回答したり、持ち帰って改めて文書で回答しておりました。要望や意見の対象になる会員は、シルバの基本理念への欠如が現れて

いるようです。

基本理念「自主・自立、

共働・共助」とは

センターは会員で組織を作り事業運営し、請け負った仕事でも準備から完成まで会員自身の責任で自主的に活動し、自分たちの力で会員や仕事を増やし、完成させていく事が「自主・自立」です。また、共同で働く機会も多くなり、個人的な能力差を越えて、お互い仲良く、助け合いながら仕事を完成させていくことが大切で、働く喜びを分かち合い気持ちよく働くことが「共働・共助」です。

今後の具体的な方策は

平成二十五年度の事業計画では、地域班・職群班の強化や会員のマ



ナーの向上についての項目を掲げました。地域班活動を活性化するために、地域班に担当理事制を導入して、問題点を理事および事務局全員で共有化し、今までの取り組みかたを反省して積極的に推進していきます。職群班では、全ての職種に班編成を行い、全会員の職群班登録制度を検討し発注者との信頼関係を深めていきます。

また、安全確認をしないで事故やけがをしたり、トラブルを起こしたり、会議やボランティアに消極的な人に対して、ペナルティの導入などを検討する会議の設置や、就業マナーの向上を目指すための講習会などを開催します。

会員ひとり一人が魅力ある会員を目指しましょう。

魅力ある会員像は「勤勉さ、おだやかさ、正確さ」です。

発注者、仕事先の従業員、仲間などの会員はあなたの仕事ぶりや態度など思った以上に見て評価しています。魅力ある人とは真面目に仕事を完遂してくれる、きちんとした挨拶、明るく気持ちよく作業する、いつも変らぬ穏やかさ、細かいところにも気を使う、いやな顔を出さない、なんでも丁寧に扱う、いつもさわやか、トラブルを起こさない等ですが、つきつめるとすべて基本理念にたどり着くものと思われま。

会員の横のつながりである地域班会議、ボランティア活動や互助会の行事に積極的に参加して会員同士の理解を深め合いましよう。

委員会の活動・方針

就業は事故なしこそ「就業」

安全・適正就業委員会

昨年度の事故件数は二件でした。前年と比べると二件減りましたが、県内のシルバーでは「ゼロ件」のセンターも見受けられます。もうひと踏ん張り「注意」と「努力」

に力を注ぎましょう。

私達会員は就業によって「喜び」「生きがい」や「充実感」を感じていると思います。委員会では会員の皆様が事故を起こしたり、事故にたい就業できなくならないよう、昨年度に引き続き「安全パトロール」を更に深みのある計画にし、

全会員が「事故なし」を合言葉に安全で適正な就業をすることを、目標に立てました。

●安全就業

「安全は、すべてに優先する」を徹底するため安全パトロールを強化するとともに、会員の健康管理と作業環境に配慮し、事故の未然防止の徹底に取り組みます。

●適正就業

請負、委任事業と一般労働者派遣事業を適正に区分するため、国の区分基準を関係機関の指導を受けながらより具体的かつ明確に理解し、就業内容に合致した事業になるよう適正就業の一層の推進を



図っていきます。

●地域班・職群班の強化

地域班の活動は、会員相互の基盤ということから班を中心としての活動施策を進めていきます。

職群班は、仕事を安全かつ適正に行うためと発注者との信頼関係を更に強くしていくよう進めていきます。

公共性と公平性

就業調整委員会

天童市シルバー人材センターが公益社団法人になって満一年が経過しましたが、地域社会や行政機関からは、その活動と運営には、より一層の公共性と公平性が求められるようになっていきます。

就業調整委員会は会員の就業状況の公平性を保つことに留意し、就業調整の対象となる職種と会員就業状況を見渡しましたが、会員の中には同一就業先で三ヶ年を超えて就業されている会員がおります。その理由の大半は発注先の事情や求めによるものです。

調整委員会は就業の交代が進まない就業先について、その要因を分析検討し、発注先の理解と会員の協力をいただきながら就業の公

平性を図りたいと思っています。

また昨年の十一月には一度も就業をしていない会員の方々にアンケート用紙を送付し、その事情や会員の希望などをお聞きし、就業に向けて仕事の提供に努めました。就業調整委員会は、今年も会員の方々がシルバー人材センターの就業を通して生きがい作りが出来るようにサポートをしたいと思っていますので、就業相談日等を活用されるようお願いいたします。

地域に親しまれる

子育て支援を目指して

子育て支援事業委員会

シルバーが取り組む子育て支援には、「子育てサロンのびのび」と小学生を対象にした「みどりのスクール」の二つの事業があります。「子育てサロンのびのび」は、田鶴町に移転してから二年目を迎えました。

昨年度の利用者の減少から、利用者拡大に向けてアンケートを取りました。利用されている方々からは、「ゆったりした気持ちで、楽しく遊ぶことができた」「場所がわかりにくい」等の声が多く寄せられました。これからもPR活動や



研修等を通して、「のびのび」を知ってもらい、地域に親しまれ喜ばれる広場になれるように運営していきます。また、託児コーナーもあり「のびのび」の広場の中で責任を持って見守っていきます。

今年度の行事も「七夕まつり」「交流広場で遊ぼう」「クリスマスお楽しみ会」を計画しています。

「みどりのスクール」は恒例になりましたが、好評の「笹巻きつくり」「門松づくり」「陶芸教室」等を予定しています。

これらの体験を通して文化の伝承をしながら心豊かな子どもの育成を目指していきたいと思えます。

会員がらのたより

天童は私の第二の故郷

交り江班 荒木 竹司

私の生まれ故郷は、雪の多い西川町です。高校卒業後、就職のため上京し隅田川に程近い日本橋浜町での暮らしで、田舎育ちの私は何もかもが珍しく、あちこちと遊び歩き楽しんだものです。

転勤や子供達のことを考えて、交通の便の良い天童駅近くに四十二歳で家を建てました。その後単身赴任を二十年、勤続四十四年で退職し、天童に帰って来ました。退職後、家に閉じこもりがちでいたところ、シルバー人材センターの事を耳にし、説明会に出席し、入会手続きをしました。

私は農家の家に生まれ、田畑での仕事なら自信があったので屋外の仕事を希望しました。入会後すぐに草刈講習があったので参加し、その後草刈班へ仲間入りし、先輩達の更なる指導を受け、やっと一人前に成長しました。

現在は主に、草刈り、草取りをやっていますが、お客様から喜んでいただけることを第一に、日々頑張って仕事をしています。天童は非常に住みよい町です。今では私の第二の故郷です。

今迄を振り返って

北目二班 松本 昭子

振り返って見ると、入会して早くも五年、その間に、ただ家にいるだけでは味わう事の出来ない経験ができたと思っています。

掃除、買物、病院への付添い、自分の出来る範囲内の仕事を頂いています。求む方も、求められる方もシルバー世代、年の差もあまりなく、近々の自分と重なる事も多々あります。話し相手として待っていてくれる人や、頑固でどうしようもなく困った人も、今では気持ちも和らいで、絶対という言葉もなくなりました。

この年になっていろんな人達との触れ合いがあり、新春祝賀会、旅行等々、仕事も大事、楽しみも大事です。参加する事によって新しい発見も生れます。これからも与えられた仕事と、出来る限り、楽しみにも参加して行こうと思っています。

猫の手に代わる手助けを

津山班 鎌田 武志

今年も鶯や雉の鳴き声を聞きな

がら果樹農家のお手伝いが始まりました。農家の方々の高齢化に伴い当センターに農業支援の要望が多く寄せられており、会員で新たに希望する方にちよつとだけ先輩としてアドバイスを申し上げます。シルバーの果樹農家の作業は芽かき・花摘み・摘果・葉摘み・玉廻し・収穫などです。

各作業内容については、講習会やテキストでの説明はあくまでも基本であり、農家には永年培われた独自のノウハウがありますので、作業は各農家の方より説明していただき、理解した上で始める事が重要です。

私達の手伝いの結果は収穫時に表われますので気を抜かず、猫の手に代わりシルバーの手を役立てていきましょう。

いつまでも健康で

柏木町班 今野 幸子

今年の二月に入会説明会に参加し、四月に仲間入りしました。入会後すぐ、事務局より電話をいただき、数回の研修を経て、市民いこいの家「ふれあい荘」で仕事をさせていただいております。

時間ごとの仕事内容に手間取りつつ、職場の皆さんから「すぐ慣

れるから焦ることないよ」の言葉に励まされ、四十年振りの仕事に張り切っています。

こうして働けるのも健康な身体、理解ある家族のお陰だと思っております。一日も早く仕事に慣れ、心に余裕を持つてお客様に接していきたいと思っております。

商人して五十年

久野本三班 志布 奎治

私は、商売の道に五十年で終止符、異業種の職を求めハローワークに通い、色々アタックしました。しかし、六十八歳の私の職場が見つからず、求人情報にフオークリフト資格講習の案内が出ていたので申し込み、運よく受講する事ができました。学科一日、試験に合格すると三日間の実技、これも運よく合格できました。(六十八歳は最高齢と試験官にいわれました。)

それでも、就職口は有りませんでした。そんな時、市報でシルバーのことを知り会員登録しました。

最初の仕事は除雪で、現在は果樹の手入れの仕事を、先輩方に色々指導して頂き、青空の下で元気で頑張っている今日です。



平成24年決算を承認 移行後2回目の定時総会

平成二十五年度定時総会が、六月七日、市民プラザで開催され、多数の会員が集結しました。

菅野理事長のあいさつ、山本市長らの祝辞のあと開会が宣言され、久野本二班の須藤一誠さんを議長に選出しました。

平成二十四年度事業報告で受託事業の伸びが示され、続く議事では、平成二十四年度の決算書類を承認し、定款の一部変更についても全会一致で可決されました。

同日、もみじ会定期総会も開催され、会員の交流と健康増進を目的とした新年度事業計画等を承認しました。



シルバー事業説明会

臨時的短期的な就業を希望する六十歳以上の方は、説明会にどうぞ。

とき 七月十七日(水)、八月十五日(木)

九月十三日(金)、十月十六日(水)

十一月十五日(金)、十二月十三日(金)

午前十時

ところ 市総合福祉センター

就業相談日

就業のこと、健康のこと、配分金のこと、会員さんの相談を承ります。

とき 七月二十五日(木)、八月二十二日(木)

九月二十六日(木)、十月二十四日(木)

十一月二十八日(木)、十二月十九日(木)

午前十時

ところ シルバー事務所

シルバー保険がパワーアップ

シルバー会員は、就業中の万一のため、団体傷害保険に加入しています。

今年度から、熱中症も補償対象になったことで、一人あたりの保険料は一四〇円増え、二、三三〇円になりました。

補償内容

死亡 九百万円

入院 一日 三千円

通院 一日 二千円

暑さ対策を十分に施し、ケガをしないよう安全に就業しましょう。

シルバー人材センター会員の 知識と経験を活用してみませんか

お仕事のご依頼、入会のお問い合わせは、まずお電話で！

高齢者向けの臨時的・短期的な仕事を承ります。
除草・植木・家事援助・障子張りなどは「請負・委任」で、
指揮命令を伴う仕事や運転業務は「派遣」で対応します。



電話 **023-654-7388**

電子メール tendo@sjc.ne.jp

天童市シルバー 検索

子育てサロン **のびのび**
 〒994-0046 天童市田鶴町三丁目3-29
 電話・FAX (023)654-0005



当センターの昨年度の実績は順調に伸びましたが、県内のシルバー人材センターでは前年を下回る所が多かったようです。

○本号では、この数年で補助金が大きく削減され、今後さらには続きそうなことで、シルバー人材センターの自立や、地域班会議やボランティア活動での問題点に危機感を持ったことで、シルバーの基本理念を会員全員が再度理解し実践することが、いかに必要かを認識しました。

○当広報委員会も会員の皆様及び地域の方々の協力を得て情報を発信し、あらゆる機会をとらえて当センターのPRに努めます。

○会員の皆様から、多くの便りを頂き有難うございました。今後ともご協力お願いします。

これからが夏本番です。「安全」と「健康」に留意してご活躍くださるようお祈り申し上げます。

広報委員会

- 奥村 弘次 大木 健
- 庄司 豊子 荒木 亮司
- 奥原 秀穂

(表紙写真 天童市総務部市長公室)